

ドライブレコーダー 取付説明書

共通編

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
本書はドライブレコーダーの取付方法「共通編」について記載しています。
取り付け前に、本書と別冊の「車種別編」を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取り付けられたものについては、取付作業者の責任となります。取り付け後は本書および「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。
なお、取り付けミスを避けるため、取り付けはスズキ代理店、またはスズキ代理店が指定した販売店で行ってください。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読みください。

警告	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながる恐れがある内容です。
注意	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながる恐れがある内容です。
注記	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながる恐れがある内容です。
アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適用車種および適用年式

品番	適用車種		適用年式
99000-79BP5 (DRV518S)	エブリイ ラパン キャリイ / スーパーキャリイ エスクード イグニス スイフト	DA17V、DA17W HE33S DA16T YEH1S FF21S ZC・ZD53S、ZC・ZD83S ZC33S MH55S、MH85S、MH95S MK53S MN71S JB64W / JB74W	2018年12月～
	ハスラー	MR52S、MR92S	2020年1月～
	ソリオ	MA27S、MA37S	2020年12月～
	ワゴンR スマイル	MX81S、MX91S	2021年初号機～
	アルト	HA37S、HA97S	2021年12月～
	ランディ	MZRA90C、MZRA95C、 ZWR90C、ZWR95C	2022年8月～
	スペーシア ベース	MK33V	

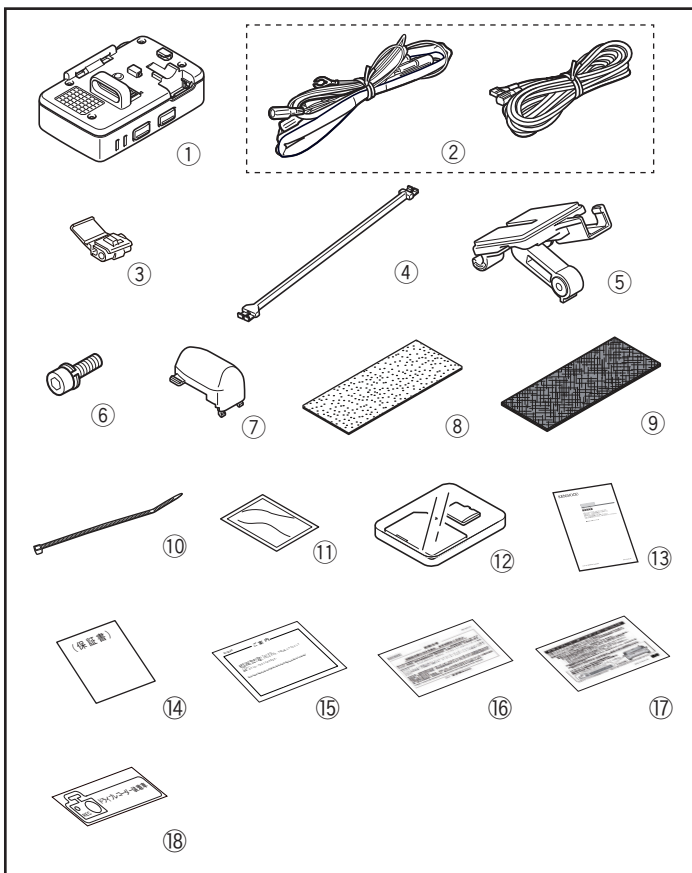
※キャリイ / スーパーキャリイに取り付ける場合、別途、コードレールセット (99000-79CG9-000) が必要です。

アドバイス

- 動作確認のため microSD カード (8GB、16GB、32GB のいずれか) をご用意ください。
- 同梱の microSD カードを使用して動作確認をしないでください。同梱の microSD カードを使用すると、車両引き渡し前に撮影された映像が microSD 内に保存されてお客様の元へ渡ります。

構成部品

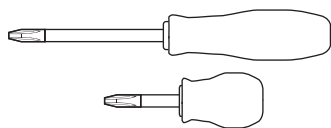
■ ドライブレコーダー (99000-79BP5)



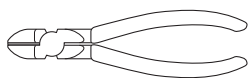
図中 番号	品名	数量
①	ドライブレコーダー	1
②	電源ケーブル	1
③	中継コネクター	2
④	ケーブルガイド	1
⑤	両面テープ付きブラケット	1
⑥	ネジ (M3 × 8mm)	1
⑦	ケーブルホルダー	1
⑧	クッションテープ (200mm × 100mm)	2
⑨	保護シート (200mm × 100mm)	2
⑩	束線バンド (200mm)	16
⑪	クリーナー	1
⑫	microSD カード (16GB)、アダプター	1
⑬	取扱説明書	1
⑭	保証書	1
⑮	補助説明書 (ご案内)	1
⑯	補助説明書 (お知らせ)	1
⑰	補助説明書 (ドライブレコーダーステッカーについて)	1
⑱	ステッカー	1

使用工具

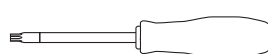
プラスドライバー (長、短)



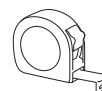
ニッパー



トルクスドライバー



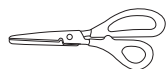
メジャー



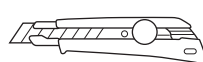
リムーバー



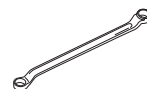
ハサミ



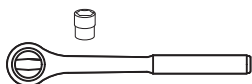
カッターナイフ



めがねレンチ (10mm)



トルクレンチ



プライヤー



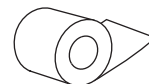
絶縁テープ



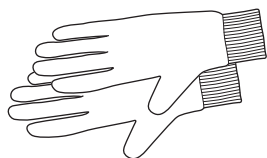
ビニールテープ



養生テープ



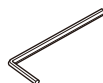
ケブラー手袋



丸ヤスリ



六角レンチ (2.5mm)



※トルクスドライバーはスーパーキャリイにて使用します。

取付上の注意事項

安全上のご注意

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



注意 (しなければならぬ)の内容です。



禁止 (してはいけない)の内容です。



実行 (かならず行っていただく)の内容です。

警告



エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。

エアバック用ワイヤーハーネスに損傷を与えない
エアバックの動作不良の原因となります。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。



説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

車両部品の脱着時や配線作業時には、ケブラー手袋を装着して作業をする
シャープエッジ部などでケガをするおそれがあります。



SRSエアバッグ装着車に取り付ける際に注意する
車両復元後、SRSエアバッグ警告灯に異常がないか確認してください。

注意



コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注記

- 車両部品の取り外しおよび取り付けは、サービスマニュアルを参照して行ってください。

アドバイス

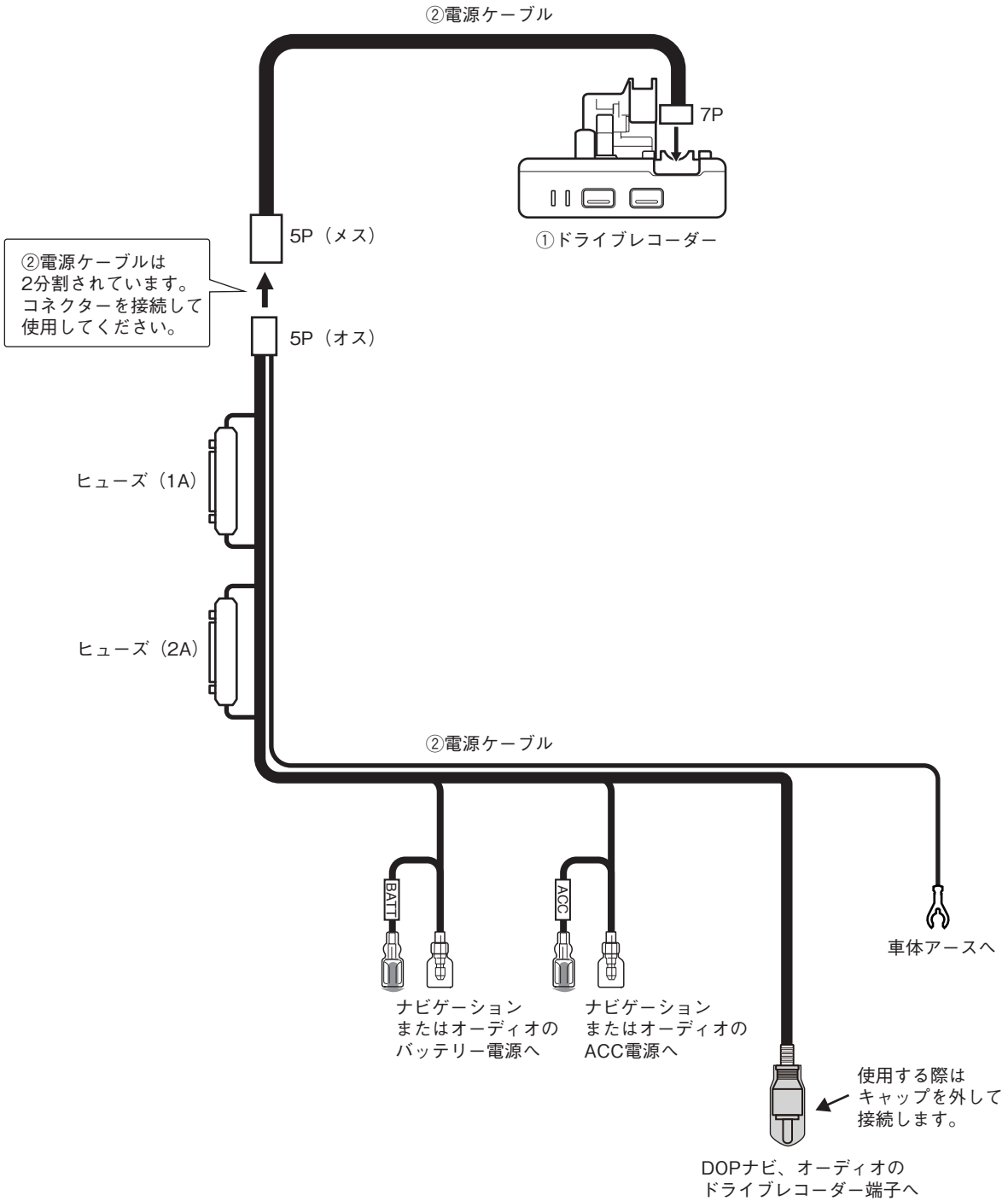
- 車両より取り外したネジ類は、部品別に整理して、なくさないように十分注意してください。

取付準備作業

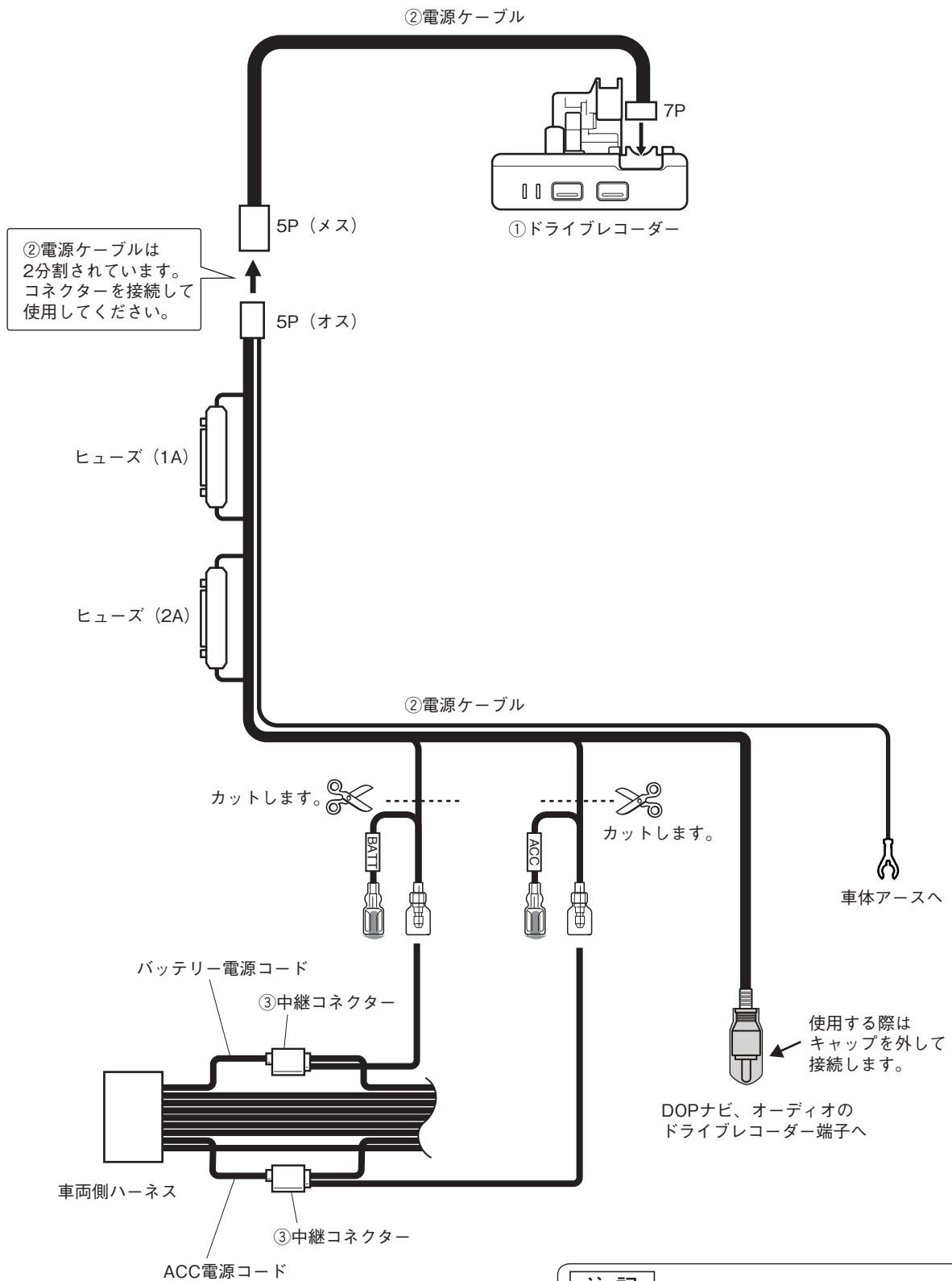
1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車させパーキングブレーキを確実に操作してください。
2. 取付作業中の車は、エンジンを停止しエンジンキーを取り外してください。
※キーレススタートシステム付車およびプッシュスタートシステム付車についてはリモコンを車外で保管してください。
3. 構成部品および部品点数が取付説明書どおりになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認してください。

結線図

■ DOPナビ、オーディオと共着する場合で、電源ハーネスに ACC、BATT のギボシ端子がある場合

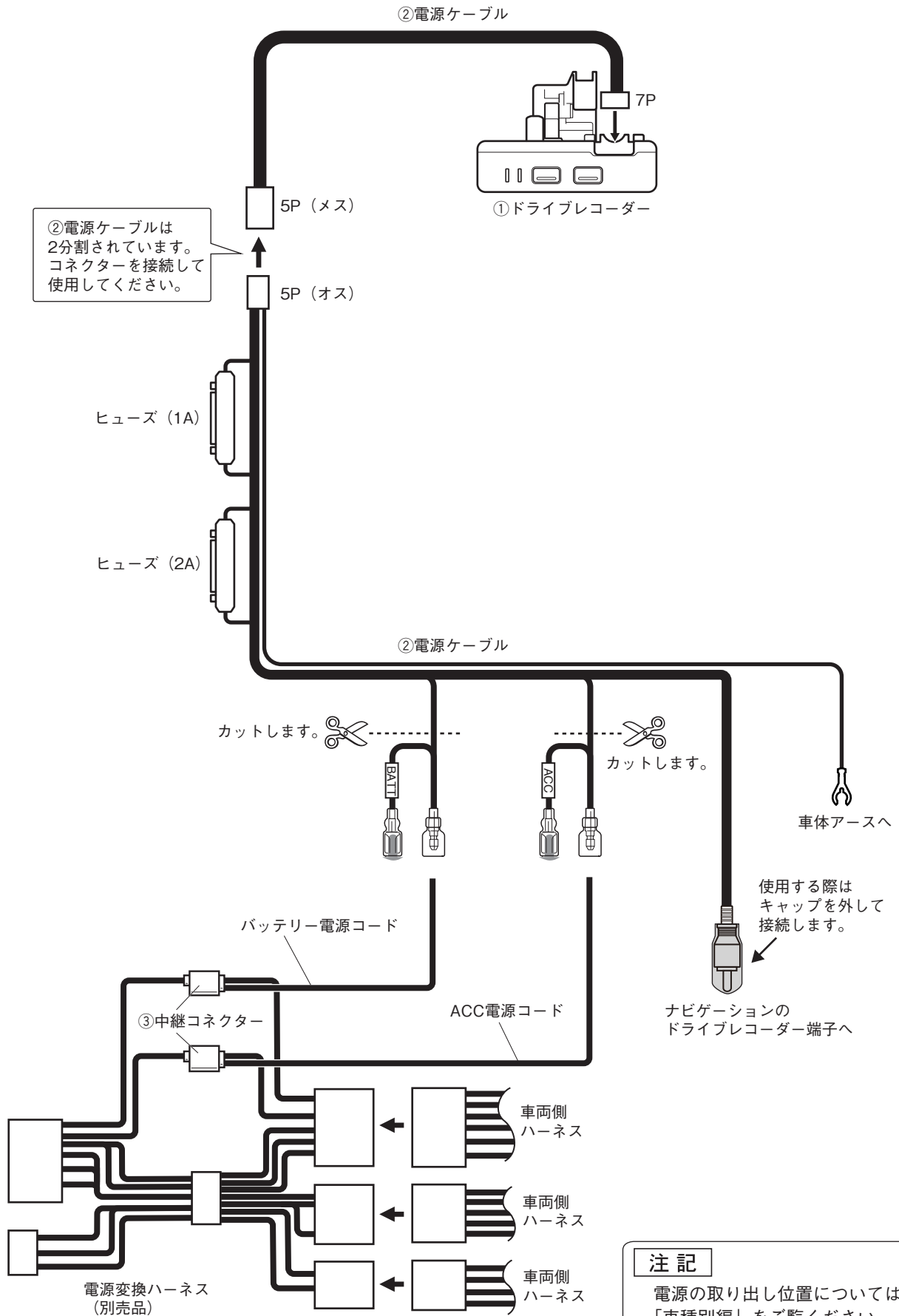


■ DOP ナビ、オーディオと共着する場合で、電源ハーネスに ACC、BATT のギボシ端子がない場合

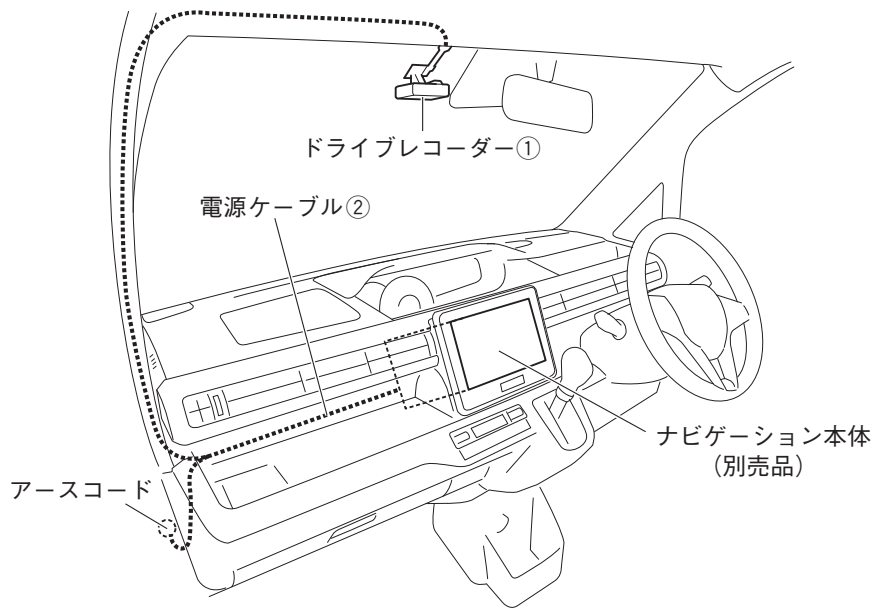


注記
 車種ごとの電源の取り出し位置については、「車種別編」をご覧ください。

■ランディに取り付ける場合



取付概要図



取付要領

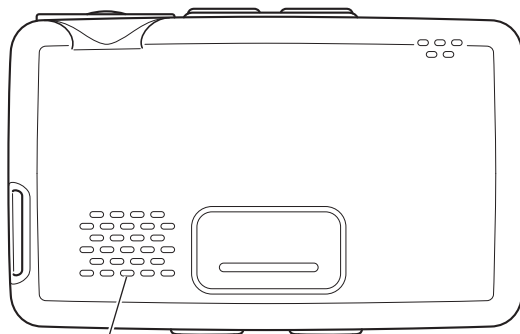
■ 保管や取り扱い上の注意

⚠ 注意

スピーカーには磁力があるため、鉄製の異物（金属片など）がスピーカーの穴から入り込み、スピーカーに付着することがあります。スピーカーに異物が付着すると、音声不良が発生する原因となります。ドライブレコーダーの保管や取り扱いは、梱包袋に入れた状態で行い、異物混入には十分に注意してください。

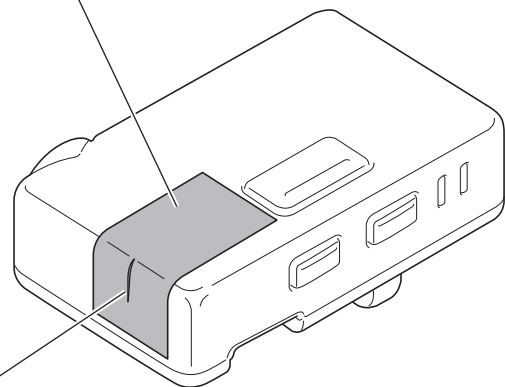
※ドライブレコーダーに貼られている異物混入防止テープは、ドライブレコーダーの取り付けが終了するまではがさず、動作確認を実施するときにはがしてください。

ドライブレコーダーの底面



異物混入防止用テープ

※ドライブレコーダーの取り付けが終了するまではがさず、動作確認を実施するときにはがしてください。



スリット部に爪などを引っかけて、テープをはがしてください。

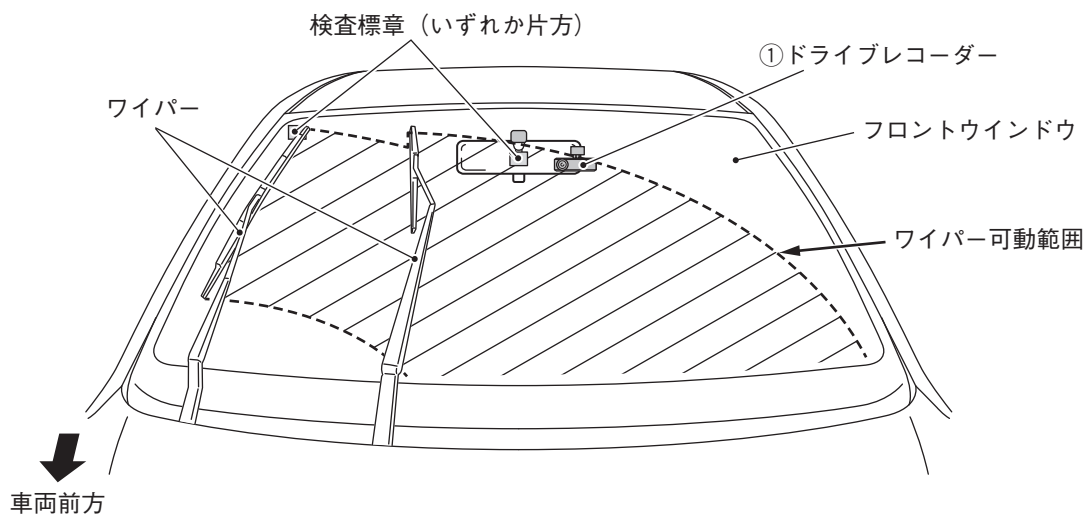
■ ドライブレコーダー取り付け上の注意

▲ 注意

- ETC アンテナなど、他用品と取付位置が重なる場合は、ドライブレコーダーの取付位置を優先してください。
- ・ 湿気が多い時は、室外での取り付けはしないでください。
粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。
- ・ 貼り付け面の汚れ（油分、水滴）をきれいに拭き取ってください。特に水滴は両面テープの性能を劣化させますので注意してください。
粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。
- ・ 気温が低い（15℃以下）と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、フロントウインドウ面とドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付けてください。
ドライブレコーダー本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。
- ・ 取り付け後、引っ張る等、無理な力を加えないで自然放置してください。
- ・ 確実に装着させるため①クリーナーでフロントウインドウをきれいに拭いてください。
- ・ 取り付け後フロントウインドウを拭く場合は両面テープに水分やガラスクリーナー等のスプレーがかからないようにしてください。粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。

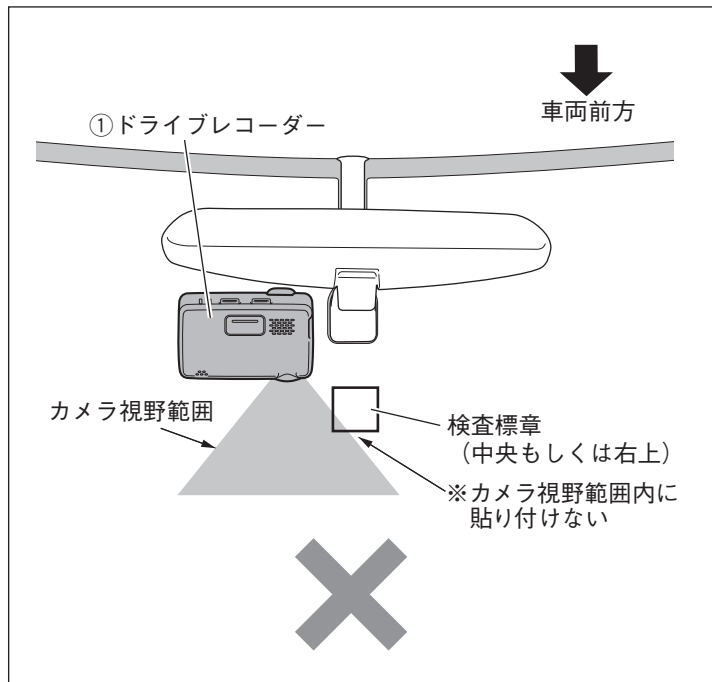
■ ドライブレコーダー取り付け位置について

外側からフロントウインドウを見た図



▲ 注意

- ・ フロントウインドウへの取り付けに関し、道路運送車両の保安基準第 29 条 4 項を満足することを確認しています。ただし、誤った位置に①ドライブレコーダーを貼り付けると保安基準に抵触する恐れがありますので、車種別の取付要領書で示す①ドライブレコーダーの貼り付け寸法を遵守してください。
(詳細は、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第 195 条第 5 項第二号または独立行政法人 自動車技術総合機構 第 8 章 8-52 による、道路及び交通状況に係る情報の入手のためのカメラに指定されている要件を参照してください。)
- ・ ①ドライブレコーダーがワイパーの可動範囲内に貼り付けられていることを確認してください。ワイパーの可動範囲外に①ドライブレコーダーを貼り付けると、雨天の際に鮮明な映像を撮影できない可能性があります。その他の場所への取り付けは、行わないでください。

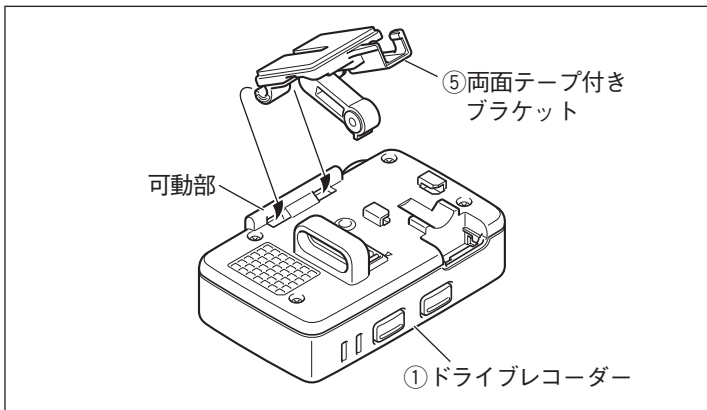


▲注意

検査標章を貼り付ける際は、カメラ視野範囲外に貼り付けてください。カメラ視野範囲内に検査標章を貼り付けると記録される映像に検査標章が映り込みます。

■ ドライブレコーダーの取り付け

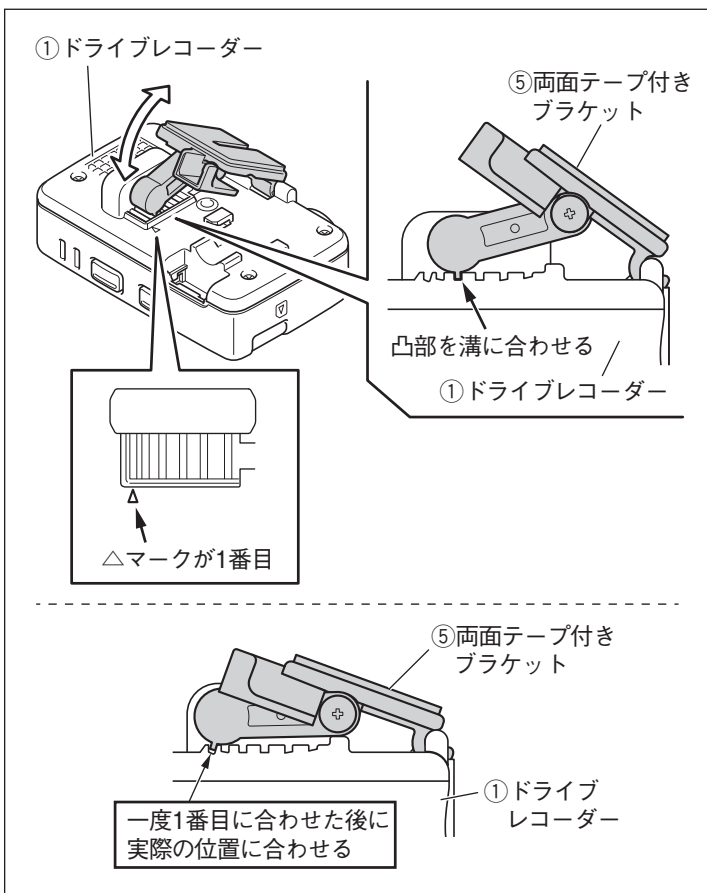
<両面テープ付きブラケットの取り付け>



1. ⑤両面テープ付きブラケットを①ドライブレコーダーの可動部にはめ込みます。

▲注意

⑤両面テープ付きブラケットの向きを間違えないように注意してください。



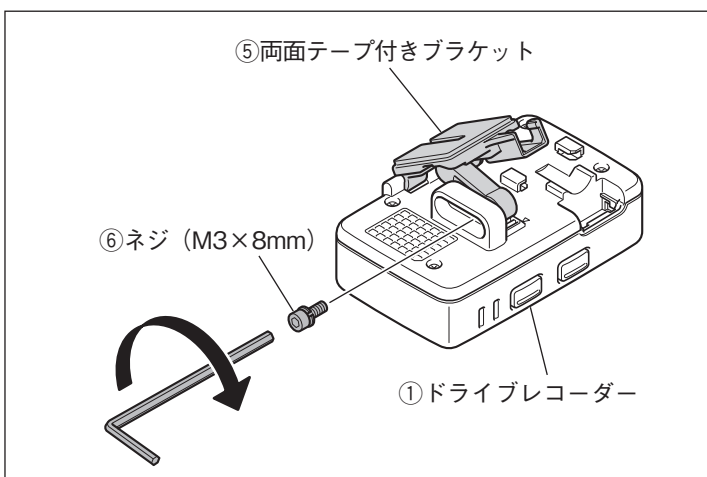
2. ⑤両面テープ付きブラケットの凸部と①ドライブレコーダーの溝を車種別の取付要領書に記載されている位置に合わせます。

▲注意

車種により合わせ位置が異なります。詳しくは車種別の取付要領書を参照してください。

▲注意

⑤両面テープ付きブラケットを①ドライブレコーダーの可動部に確実にはめ込むため、一度1番目の溝に合わせた後、実際の位置に合わせてください。



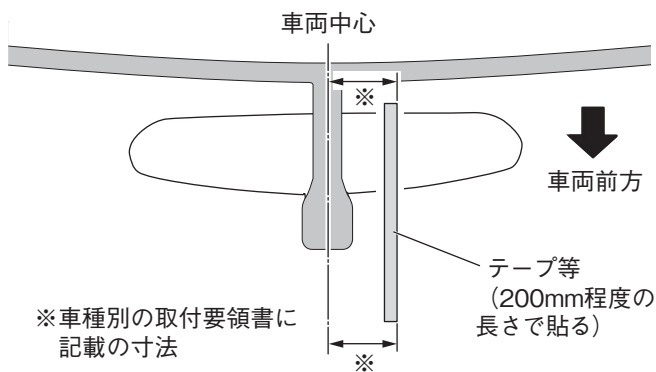
3. ⑥ネジ (M3×8mm) で⑤両面テープ付きブラケットを固定します。

▲注意

- ・ ⑥ネジ (M3×8mm) を固定する際は、六角レンチ (2.5mm) を使用してください。
- ・ 凸部の合わせ位置がずれていないことを確認してから固定してください。

<ドライブレコーダー取付位置のマーキング>

車室外側からフロントウィンドウを見た図

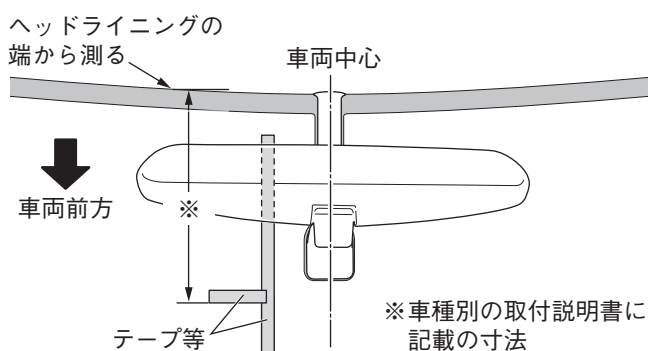


1. 車種別の取付説明書に記載されている位置の横方向の基準線をテープ等でマーキングします。

▲注意

- ・ 車種によりマーキング位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・ 車種別の取付説明書で示す①ドライブレコーダーの貼付寸法を遵守してください。誤った位置に①ドライブレコーダーを貼り付けると保安基準に抵触する恐れがあります。
- ・ テープ等の外側が基準線になるようにマーキングしてください。
- ・ 上下の2箇所寸法を測り、基準線が垂直になるようにマーキングしてください。

車室内側からフロントウィンドウを見た図

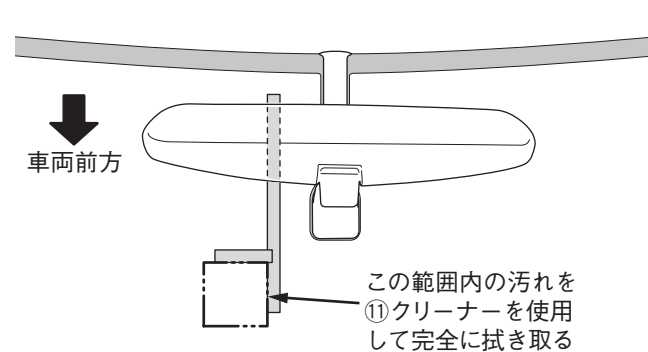


2. 車種別の取付説明書に記載されている位置の縦方向の基準線をテープ等でマーキングします。

▲注意

- ・ 車種によりマーキング位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・ 車種別の取付説明書で示す①ドライブレコーダーの貼付寸法を遵守してください。誤った位置に①ドライブレコーダーを貼り付けると保安基準に抵触する恐れがあります。
- ・ テープ等の下側が基準線になるようにマーキングしてください。

車室内側からフロントウィンドウを見た図

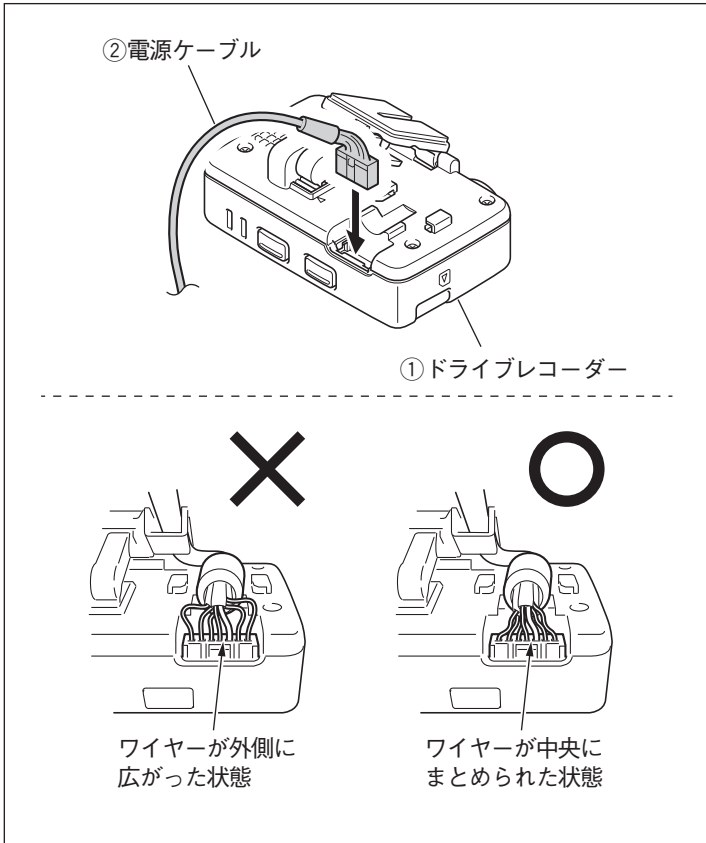


3. ①ドライブレコーダーを貼り付ける位置のフロントウィンドウ（車室内側）の汚れ（ゴミ、油）や、曇り止め等を①クリーナーで完全に拭き取ります。
4. フロントウィンドウに付いた①クリーナーの成分をきれいなウエスで完全に拭き取ります。

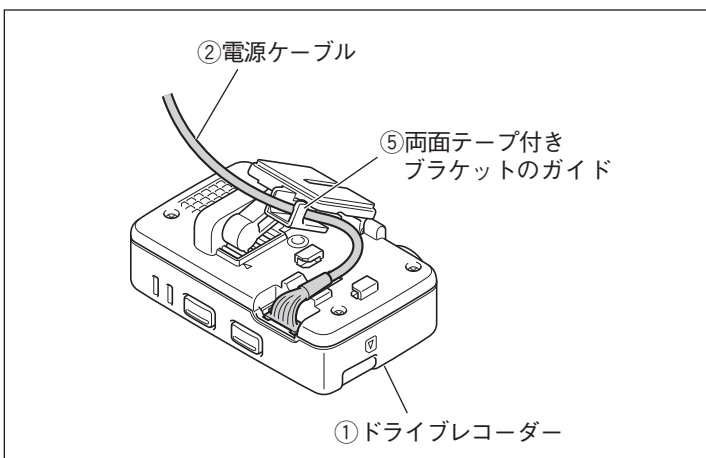
▲注意

- ・ フロントウィンドウが乾かないうちは、①ドライブレコーダーの貼り付け作業を行なわないでください。フロントウィンドウに貼り付かなくなります。
- ・ 拭き取り後は貼り付け位置には触れないでください。

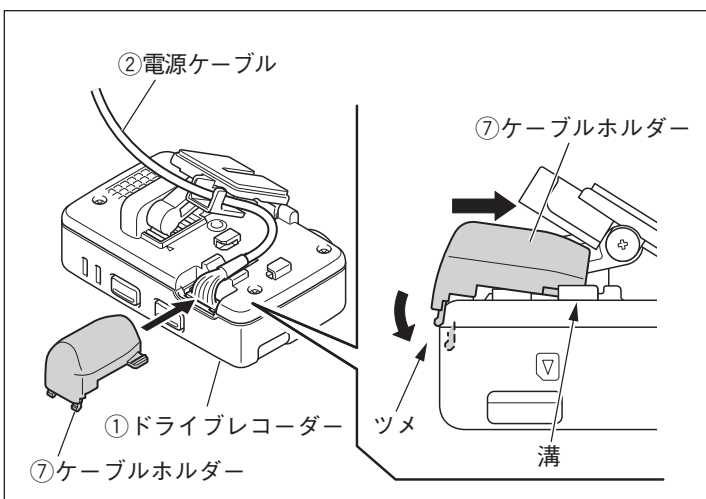
<ドライブレコーダーの取り付け>



- ①ドライブレコーダーに、②電源ケーブルを接続し、ワイヤーを中央にまとめます。



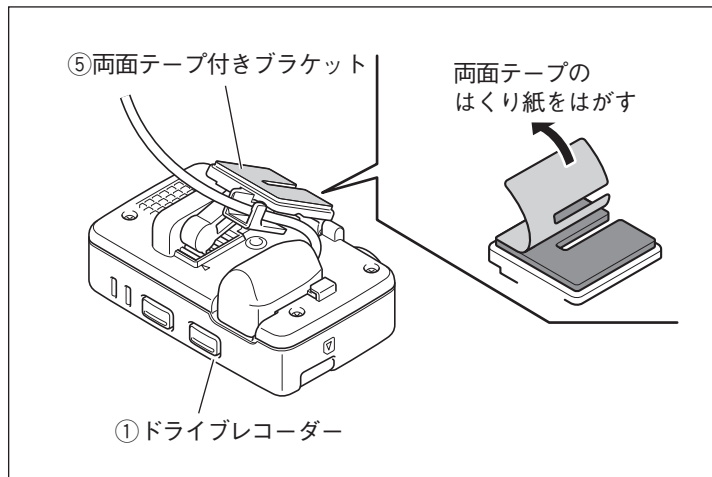
- ②電源ケーブルを⑤両面テープ付きブラケットのガイドに通します。



- ①ドライブレコーダー上面の溝に⑦ケーブルホルダーを差し込みます。
- ⑦ケーブルホルダーのツメを①ドライブレコーダーのコネクター部に差し込んで、⑦ケーブルホルダーを固定します。

▲注意

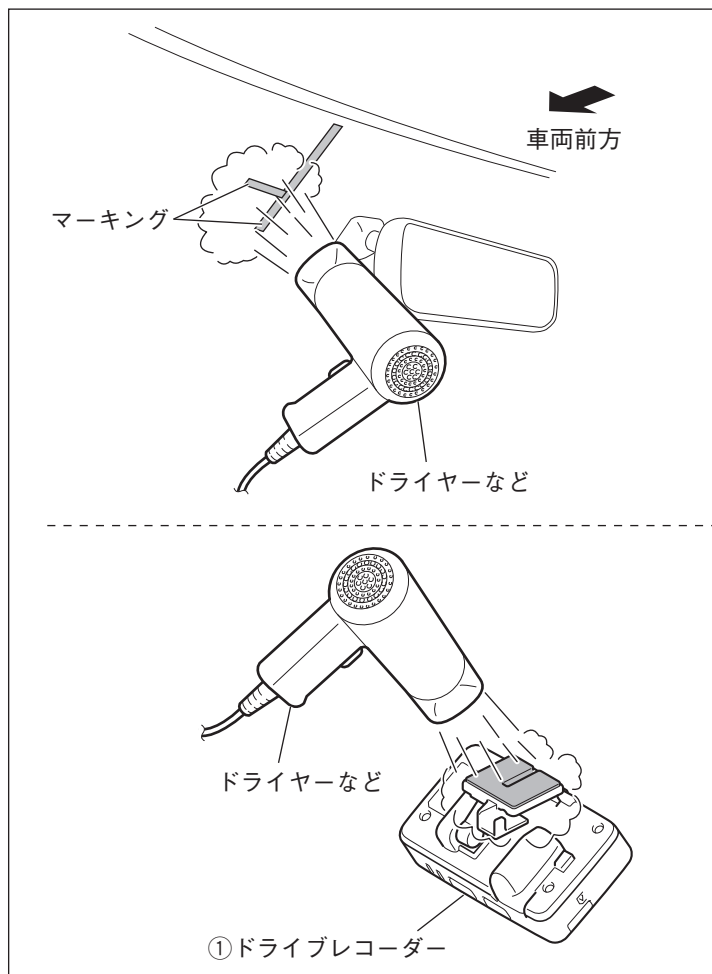
- ⑦ケーブルホルダーのツメが①ドライブレコーダーのコネクター部にしっかりかかっていることを確認してください。
- ②電源ケーブルのワイヤーが⑦ケーブルホルダーにかみ込んでいないことを確認してください。



5. ⑤両面テープ付きブラケットの両面テープからはくり紙をはがします。

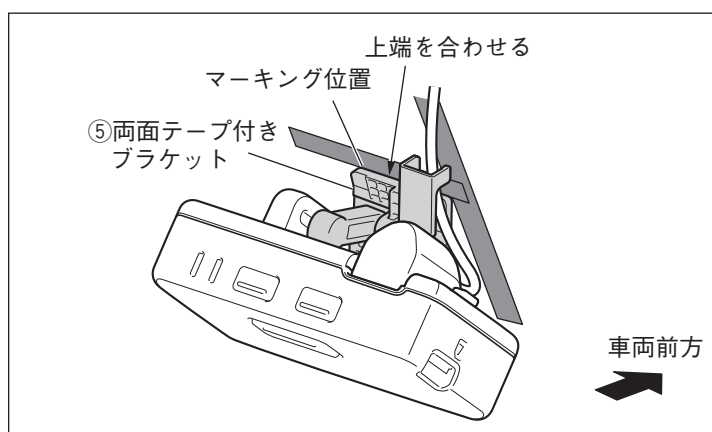
▲注意

粘着力が弱まり、①ドライブレコーダーが落下する恐れがありますので、両面テープの粘着面に手を触れないでください。

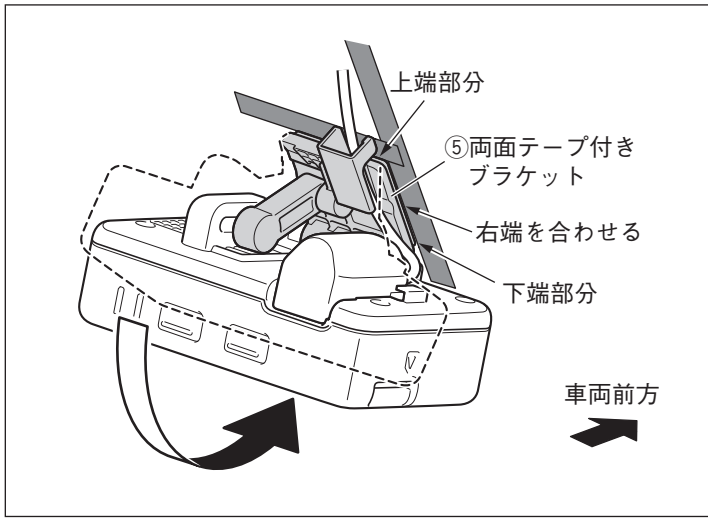


▲注意

- ・作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- ・温度が低い場合は、ドライヤーなどでフロントウインドウ面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。
- ・温度について
貼付作業時の環境温度は、15℃以上が推奨です。気温が低い時期（気温15℃未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、フロントウインドウ面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- ・湿気について
貼付部のウインドウ表面を乾燥させてください。室温に比べてウインドウ表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。
- ・①ドライブレコーダーを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤーなどで温めてください。



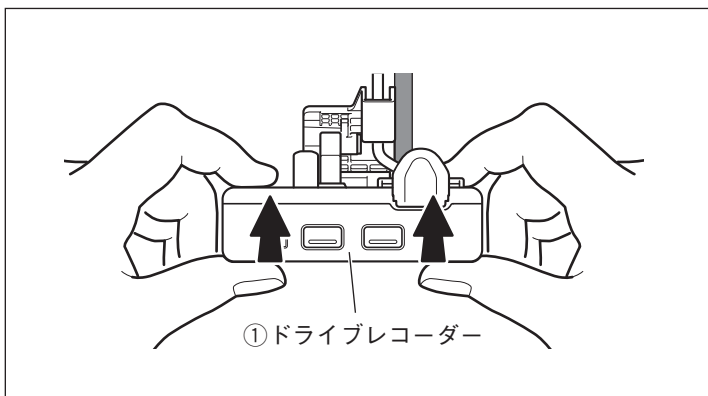
6. マーキング位置に⑤両面テープ付きブラケットの上端を合わせます。



7. ⑤両面テープ付きブラケットを貼り付け面上端から下端へ右端をマーキング位置に合わせながら、貼り付けます。

▲注意

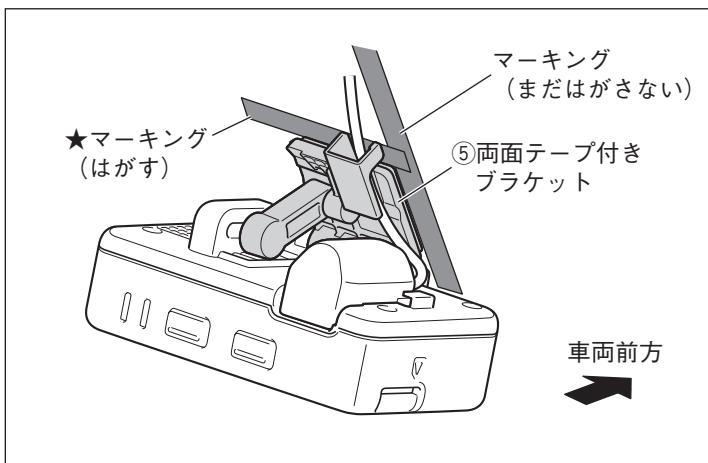
気泡が入らないように貼り付けてください。



8. ①ドライブレコーダーをフロントウインドウに対して垂直方向に強く押しつけて貼り付けます。

▲注意

- ・両面テープをしっかりと定着させる為、十分に⑤両面テープ付きブラケットをフロントガラスに押しつけてください。
- ・①ドライブレコーダー貼り付け後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡が無いことを確認してください。
- ・粘着力が弱まり、落下する恐れがありますので、①ドライブレコーダーを貼り直したりしないでください。
- ・貼り付け後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず10分以上放置後に行ってください。
十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。



9. 横方向の★マーキングをはがします。縦方向のマーキングは、〈電源ケーブルの取り付け〉手順2で④ケーブルガイドを取り付ける際の目安にしますので、まだはがさないでください。

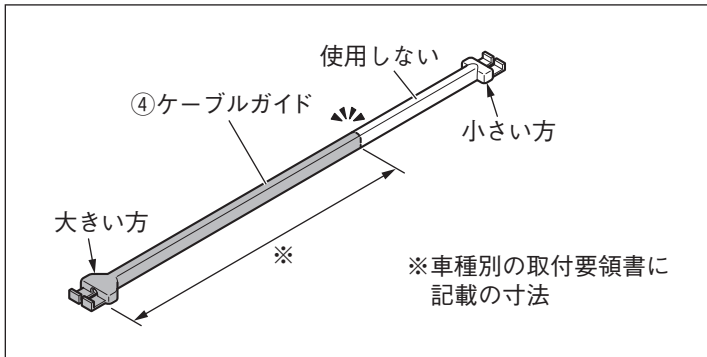
▲注意

運転席側に①ドライブレコーダーを貼り付ける場合は、⑤両面テープ付きブラケットの左端を合わせてください。

<ケーブルガイドの取り付け>

▲注意

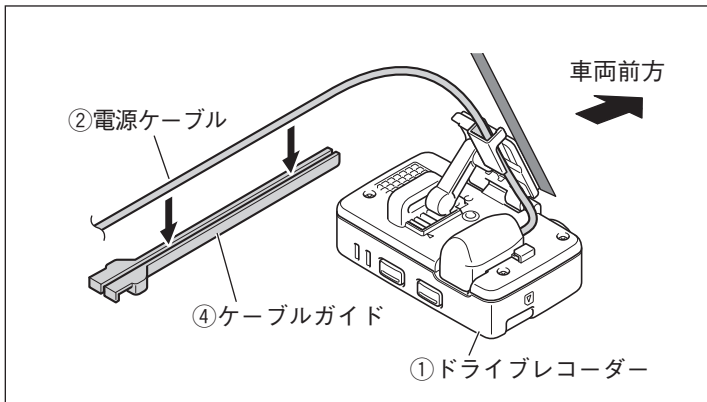
- ・取付要領は、助手席側に配線する場合で説明していますが、運転席側の場合も同様の作業を行ってください。
- ・作業をする際に、ドライブレコーダー本体に無理な力がかからないように作業してください。



1. ④ケーブルガイドを車種別の取付説明書に記載の寸法でカットします。

▲注意

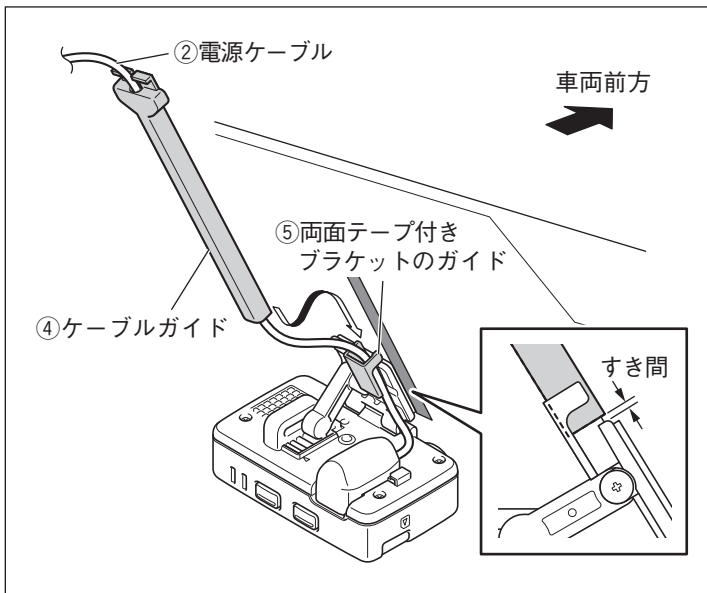
車種によりカットする位置と使用する側が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。



2. ②電源ケーブルを④ケーブルガイドの溝に押し込みます。

▲注意

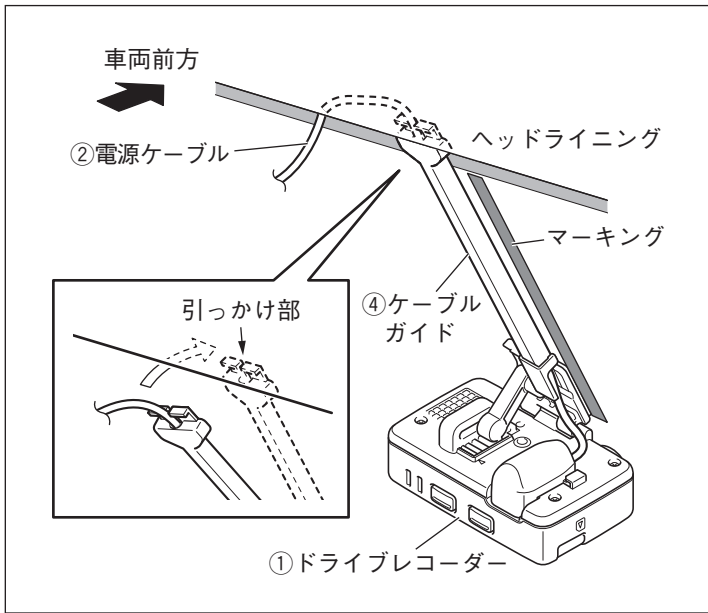
④ケーブルガイドはカットした面を①ドライブレコーダー側にしてください。



3. ④ケーブルガイドを⑤両面テープ付きブラケットのガイドに差し込みます。

▲注意

- ・②電源ケーブルがたるまないように、②電源ケーブルを上方に引きながら④ケーブルガイドを差し込んでください。
- ・④ケーブルガイドの下端と⑤両面テープ付きブラケットのガイドとの間に少しすき間を空けてください。



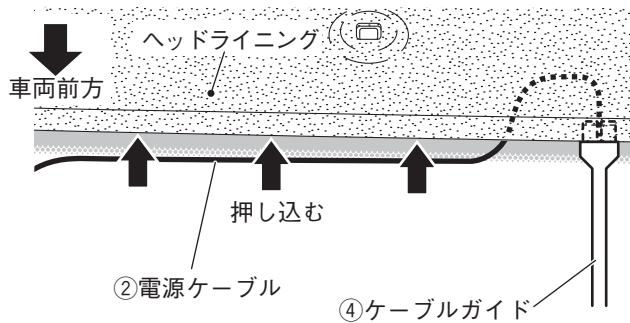
4. ④ケーブルガイドの引っ掛け部をヘッドライニング内に入れます。
5. ④ケーブルガイドをマーキングを目安にヘッドライニングに対して垂直にします。
6. ④ケーブルガイドを取り付けた後、縦方向のマーキングをはがします。

▲注意

- ・④ケーブルガイドがヘッドライニングに対して垂直になっていることを確認してください。
- ・できる限り④ケーブルガイドとフロントウインドウにすき間が空かないように取り付けてください。

<ヘッドライニング部、フロントピラー部の配線>

助手席からフロントウインドウを見た図



▲注意

マーキングを目安にして④ケーブルガイドがヘッドライニングに対して垂直になっていることを確認してください。

- ②電源ケーブルをヘッドライニング内に押し込みます。

▲注意

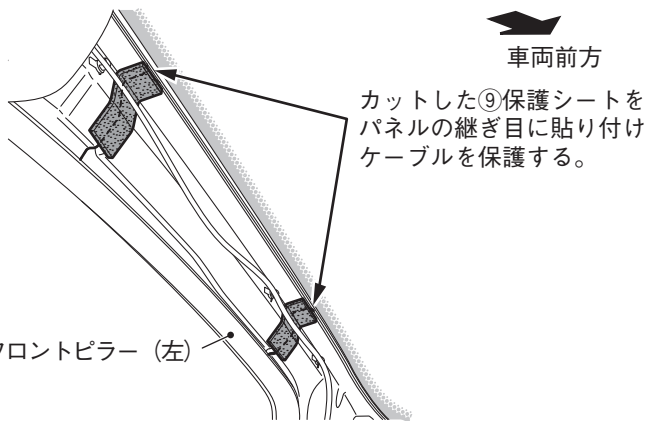
- ・車種により引き回し方向が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・②電源ケーブルをヘッドライニング内に押し込む際、ヘッドライニングに折り目（割れ等）が入らないように注意して作業を行ってください。

- フロントピラー部にパネルの継ぎ目がある場合は、②電源ケーブルを保護する為に、⑨保護シートを車両側に貼り付けます。

▲注意

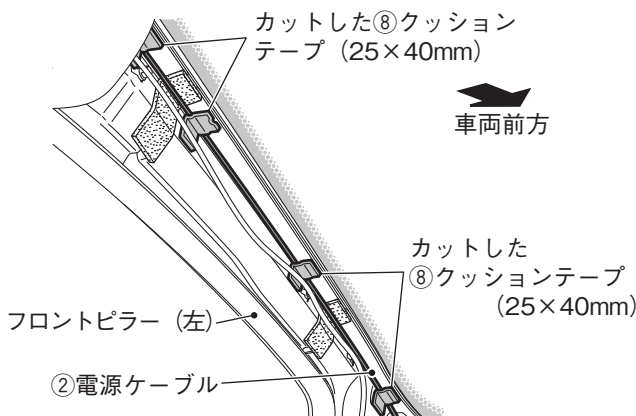
車種により異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。

フロントピラー部



※図は助手席側を示しますが、運転席側も同様です。

フロントピラー部



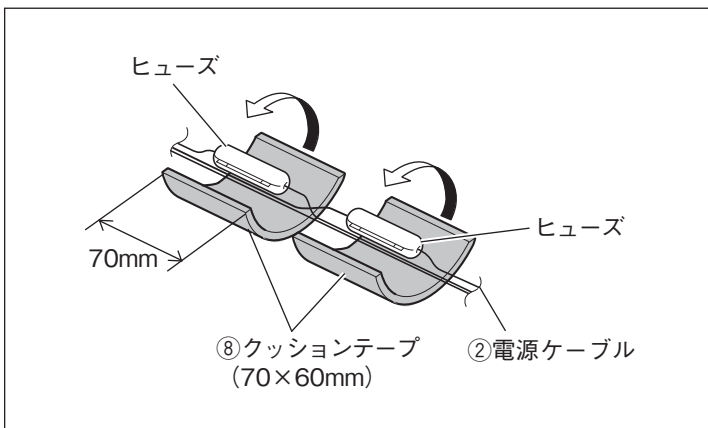
※図は助手席側を示しますが、運転席側も同様です。

- ②電源ケーブルを配線し、⑧クッションテープをカットして固定します。

▲注意

- ・車種により固定する枚数が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・車両ハーネスに沿わせ、フロントピラートリム裏側のリブおよび固定クリップ等に干渉しないように配線してください。

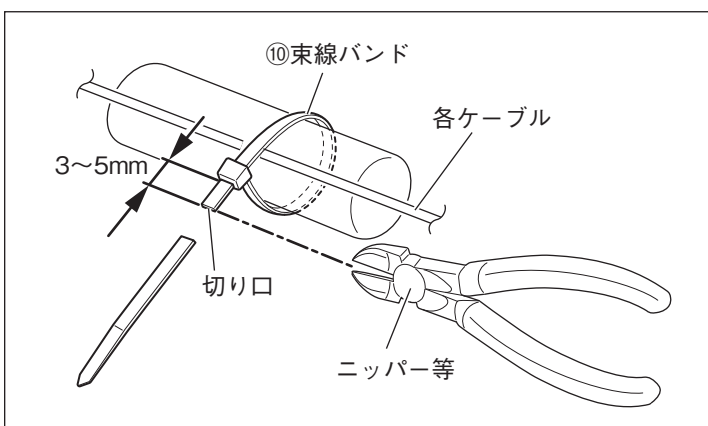
■ 配線を行う際の注意



▲ 注意

異音防止のため②電源ケーブルのヒューズ2箇所
にカットした⑧クッションテープを巻き付けてく
ださい。

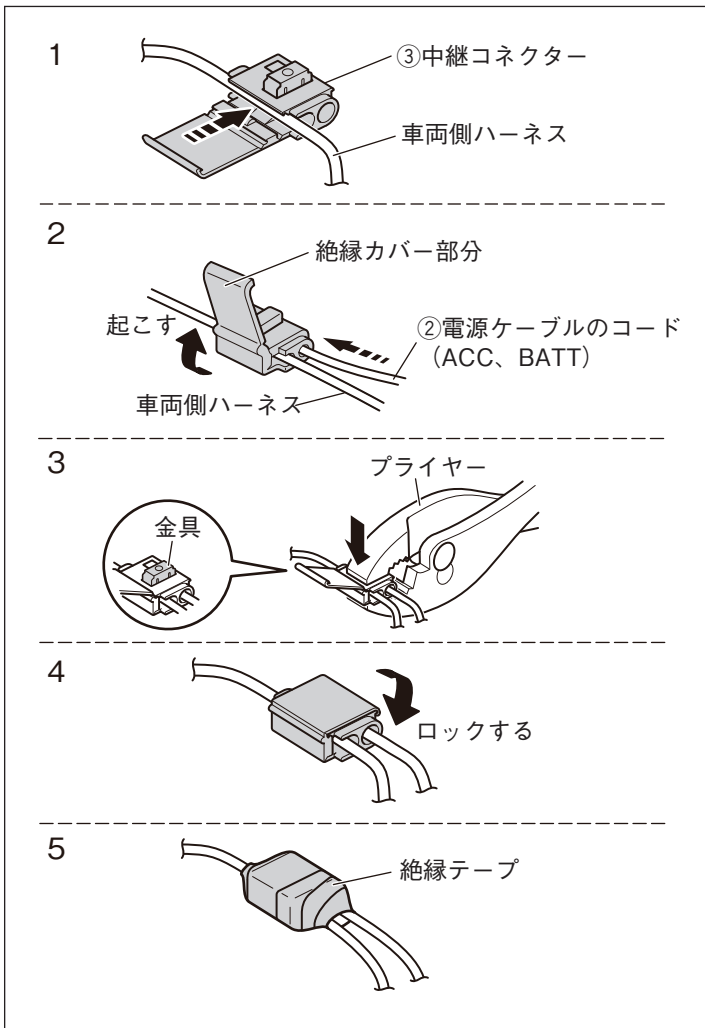
■ 束線バンドのカットについて



注記

⑩束線バンドは3~5mmの切代を残し、切り口
が鋭利な形状にならないようニッパー等でカット
してください。
切代が短すぎるとバンドが外れるおそれがあります。

■ 中継コネクターの使用方法



1. 車両側ハーネスの指定のコードを③中継コネクターに通します。
2. 絶縁カバーを起こします。
②電源ケーブルの指定のコードを③中継コネクターに突き当たるまで差し込みます。
3. プライヤーで金具を押し込みます。
4. 絶縁カバーを閉じてロックします。
5. ③中継コネクターを絶縁テープなどで巻きます。

取り付け完了後の点検・調整

- ・車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクタ類の接続・締め付けトルク等)
- ・取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
- ・オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。

1. 取り付けの確認

1. 配線や取り付けに異常がないか点検してください。
2. 特に車両ハーネス等を無理に引っ張ったり、かみ込んでいないか確認してください。
3. ネジ類の締め付けが完全か、締め忘れはないか確認してください。

2. 作動確認

1. バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
2. エンジンを始動した状態でドライブレコーダーの動作確認を行ってください。
(トラブルシュートについてはドライブレコーダーに付属の取扱説明書に記載してあります。)

3. 最終確認

1. 車両のメーター、警告灯、ヘッドランプ、エアコン、時計、ホーン、ワイパー、アクセサリースOCKETなどが正常に動作することを確認してください。

取り付け店様へのお願い

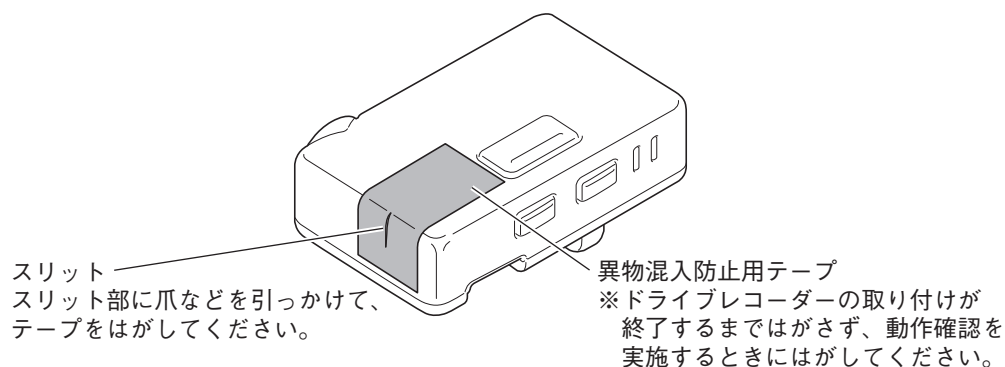
必ずお客様に操作要領を説明してください。

動作確認

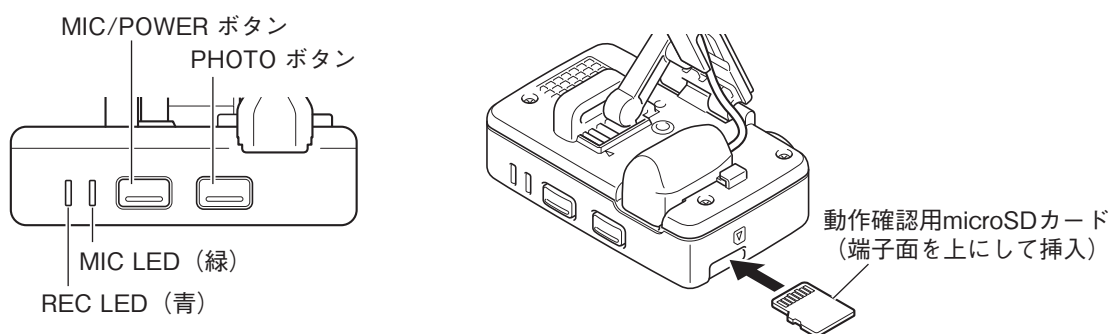
■ ドライブレコーダー本体の基本操作

< microSD カードの抜き差し >

microSDカードの抜き差しの際は、エンジンをきり、ACC/イグニッションをOFFにしてLED消灯を確認してください。
※ドライブレコーダーに貼られている異物混入防止用テープをはがしてから、microSDカードを挿入してください。



- (1) 動作確認用の microSD カードを挿入口に端子面を上にして、カチッと音がするまで挿入します。microSDカードの向きに注意してください。



- (2) microSDカードを取り出すときは、microSDカードを押して、microSDカードが少し飛び出たら引き抜きます。

▲ 注意

- ・ microSDカードの抜き差しの際は、エンジンをきり、ACC/イグニッションをOFFにしてLED消灯を確認してください。
- ・ microSDカードは本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- ・ microSDカードへアクセス中 (REC LED が点灯) は microSDカードを取り出さないでください。
- ・ 動作確認用 microSDカードは、同梱の microSDカードと同等のものを使用してください。
- ・ 必ず、動作確認用 microSDカードを事前に準備してください。(同梱の microSDカードは使用しないでください。)

<LED/ 報知音による状態通知 >

条件	報知音	LED	
		REC (青色)	MIC (緑色)
常時録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
常時録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
手動録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
イベント (衝撃) 記録開始	ピロリン (↑)	点灯	—
静止画記録	カシャ	—	—
メニューカーソル送り	プッ	—	—
メニュー項目決定	ピボン (↑)	—	—
メニュー項目戻り / 解除	ピボン (↓)	—	—
駐車録画開始	ピロリン (↑)	点灯	—
駐車録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
ファイル数制限で記録できず	ダダダダ	—	—
自動静止画記録開始	ピピコン (↑)	—	—
自動静止画記録停止	ピピコン (↓)	—	—
音声記録 ON	プッ	—	点灯
音声記録 OFF	プッ	—	消灯
ACC ON 時・駐車録画検出	" 駐車録画があります "	—	—

■ ドライブレコーダー本体の動作確認

<録画動作の確認 >

本機を取り付けた後、本機にmicroSDカードを挿入した状態で以下の動作確認を実施してください。



注意

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

No.	実施事項	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
1	車両の ACC または イグニッションを ON にする	REC LED が点灯する	・ケーブルの接続を確認してください ・microSDカードが正しく挿入されていることを確認してください	<input type="checkbox"/>
2	「ピコン」と動作音が鳴った後 10 秒以上経過しても、自己診断エラー (下記自己診断機能一覧表を参照) が出ていないことを確認する	REC LED が点灯する	・下記自己診断機能一覧表の対処法を参照してください	<input type="checkbox"/>
		REC LED が点灯する	・MIC/POWER ボタンを押して音声記録をオンにしてください	<input type="checkbox"/>

●自己診断機能一覧表

音声ガイダンス	検出できる異常状態	対処方法
SDカードがありません ※ドライブレコーダーに microSD カードを挿入してください	microSD カードが正しく挿入されていない	microSD カードを正しく挿入してください
SDカードの初期化が必要です ※ドライブレコーダーの microSD カードを確認してください	microSD カードのフォーマットがされていない	フォーマットされた microSD カードを使用してください
SDカードエラーです	microSD カードが異常または認識できない	壊れている可能性があるため microSD カードを交換してください
録画を中止しました ※ドライブレコーダーが録画を中止しました	本体の異常により録画を停止した	ハード異常の可能性があります ドライブレコーダーを交換してください

■ パソコンを使用した動作確認

<パソコンの準備>

- 1.動作確認用microSDカード、SDカードアダプター、カードリーダー、パソコン（下記スペックを参照）を準備する。
- 2.動作確認用microSDカードをSDカードアダプターおよびカードリーダーを使用してパソコンに認識させる。

●パソコンの必要スペック

OS	Windows 8.1/8.1Pro (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) (Windows 10 mobile は除く)
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

※Windows 8.1/8.1Pro、Windows 10 は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※Intel Coreは、Intel Corp.の登録商標または商標です。

<メモリーカードをフォーマットする>

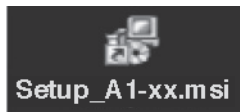
- 1.SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。
SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。
 - (1) Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイト<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/>にアクセスします。
 - (2) 車両メーカー名から取り付けたドライブレコーダーの型番を選択してください。
 - (3) 「SDメモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
 - (4) 記述されている手順に従って、SDメモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。
- 2.SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動する。
[スタート] → [すべてのプログラム] → [SDFormatter] → [SDFormatter] を選択します。
- 3.[フォーマット] ボタンをクリックする。
選択されたドライブがメモリーカードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットしてください。
異なるドライブが選択されている場合は、[更新] ボタンをクリックし、メモリーカードを挿入したドライブを選択してください。
- 4.フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックする。
- 5.[終了] ボタンをクリックする。

<録画する>

- 1.フォーマットされたmicro SDカードをドライブレコーダー本体へ挿入する。
- 2.エンジンスイッチをONにしてドライブレコーダー本体の電源がオンになると、常時録画を開始します。
ドライブレコーダー本体のREC LED（青色）が点灯していることを確認してください。
- 3.エンジンスイッチをOFFにして、ドライブレコーダーからmicro SDカードを取り出す。

<ビューアソフトをインストールする>

1. 専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/> にアクセスして、車両メーカーから取り付けたドライブレコーダーの型番を選択する。
2. インストーラー「Setup_A1-XX.msi」をダウンロードして、パソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーする。「Setup_A1-XX.msi」の「XX」は、バージョンを表します。
3. コピーした「Setup_A1-XX.msi」をダブルクリックする。



4. セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進める。

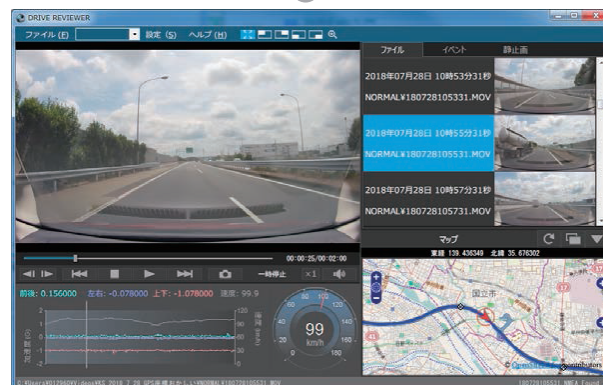
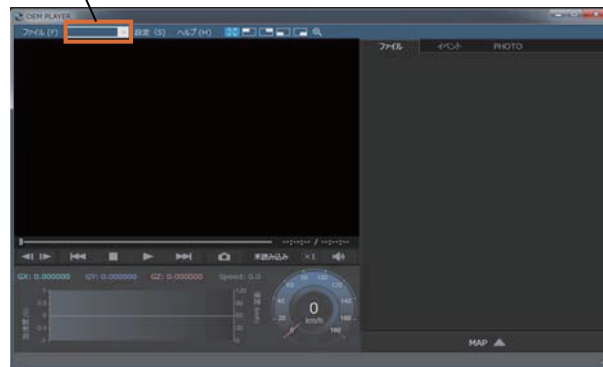


5. 「完了」をクリックする。
インストールが完了します。

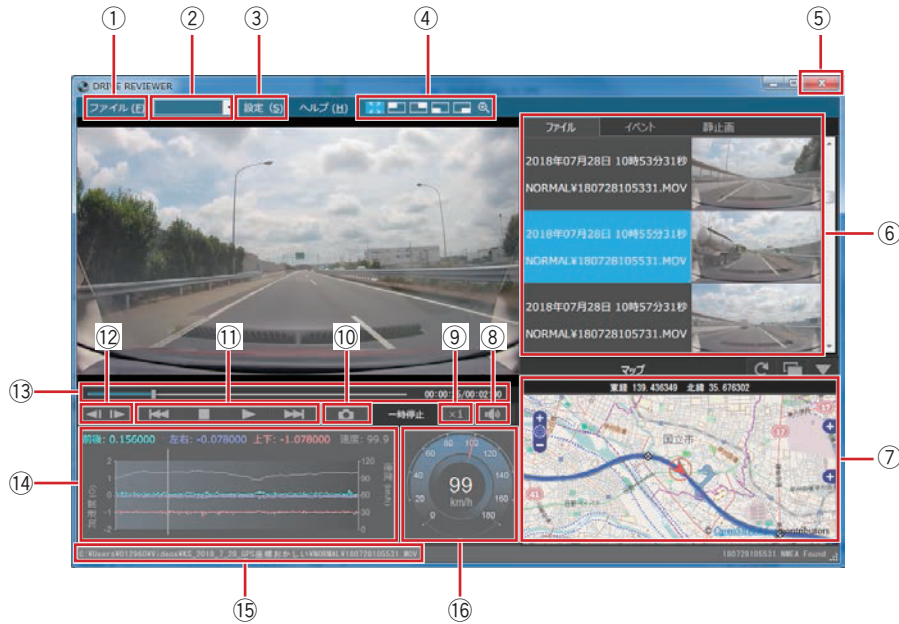
<パソコンによる確認>

1. ドライブレコーダー本体から抜いた動作確認用microSDカードをカードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入する。
2. パソコンにインストールしたビューアソフトを起動する。
3. ビューアソフトのドライブ選択よりmicroSDカードのドライブを選択する。
録画された映像が再生されます。

ドライブ選択



ビューワソフトの各部説明



No	名称	説明
①	「ファイル」メニュー	フォルダ選択、kmz/kml にエクスポート、バックアップ、終了
②	ドライブ選択	リムーバブルドライブの選択をします。
③	「設定」メニュー	本体設定ファイルを作成します。
④	ズームアイコン	ズーム表示します。(全体 / 左上 / 右上 / 左下 / 右下 / マニュアル)
⑤	終了	ビューワソフトを終了します。
⑥	映像リスト	撮影された映像のリストを表示します。
⑦	地図	再生映像の位置情報を地図上に表示します。 地図が表示されていないときは「マップ」をクリックします。
⑧	音量調整	再生映像の音量を調整できます。
⑨	再生速度調整	再生速度を調整できます。(x1/2、x1、x2、x4、x8)
⑩	画面キャプチャ	再生中の映像を JPEG に変換して保存できます。
⑪	再生操作パネル	再生操作が可能です。(再生、一時停止、ファイル送り、ファイル戻し)
⑫	コマ送り / 戻し	再生コマ送り、戻しが可能です。
⑬	トラックバー	再生位置を調整できます。
⑭	走行データグラフ	再生映像の走行状態をグラフ表示します。(車速、3軸センサー)
⑮	ファイル名	再生中のファイル名を表示します。
⑯	速度メーター	再生映像の車速をメーター表示します。

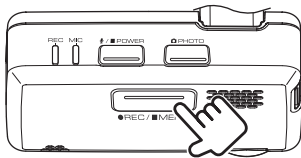
No	実施項目	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
①	カメラ映像の確認	映像に黒色プリントやミラーベースなどが極端に映り込んでいないこと	・取付要領書通りに取り付けができていないか再度確認してください	<input type="checkbox"/>
②	音声の確認	音声の記録ができていないこと	・MIC LED が点灯していることを確認してください 点灯していない場合は、MIC/POWER ボタンを押して音声記録をオンに切り替えて再度確認してください	<input type="checkbox"/>

<ドライブレコーダー本体での動作確認>

1.モニター（ナビゲーションなど）に、ドライブレコーダーの映像を表示します。

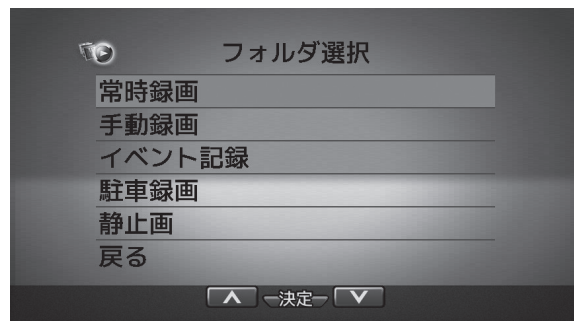
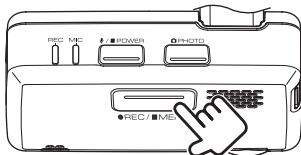


2.「REC/MENU」 ボタンを3秒以上押し続けます。



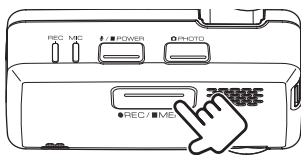
[MENU]画面が表示されます。

3.[MENU]が表示されたら「REC/MENU」ボタンを押します。



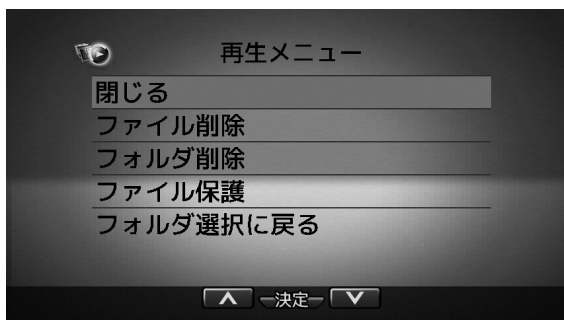
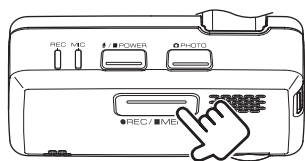
[フォルダ選択]画面が表示されます。

4.[フォルダ選択]画面が表示されたら「REC/MENU」ボタンを押します。



再生画面に切り替わり、再生が開始されます。
録画された映像が再生できることを確認してください。

5.確認が終わったら「REC/MENU」ボタンを1秒押し続けます。



再生メニューが表示されます。

6.再生メニューが表示されたら「REC/MENU」ボタンを3秒以上押し続けます。
ドライブレコーダーの映像に戻ります。



No	実施項目	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
①	カメラ映像の確認	映像に黒色プリントやミラーベースなどが極端に映り込んでいないこと	・取付要領書通りに取り付けができていないか再度確認してください	<input type="checkbox"/>
②	音声の確認	音声の記録ができていないこと	・MIC LED が点灯していることを確認してください 点灯していない場合は、MIC/POWER ボタンを押して音声記録をオンに切り替えて再度確認してください	<input type="checkbox"/>